

2014年3月期 第2四半期累計決算 説明資料

見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の予想数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。

※資料内の会計期間の表記は“F”を用いております。2014年3月期第2四半期累計は“13F1”となります。



連結損益計算書

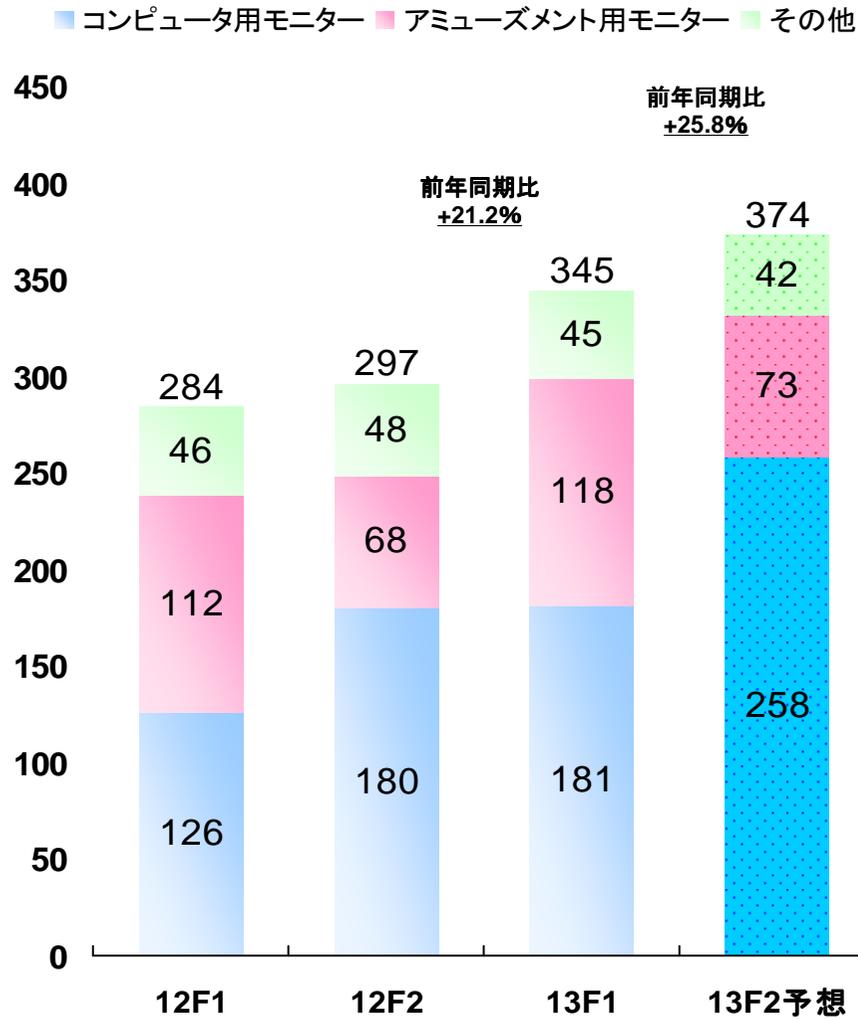
(百万円)

	12F1		13F1		前年同期比	
	金額	売上高比 (%)	金額	売上高比 (%)	増減額	増減率 (%)
売上高	28,489	100.0	34,531	100.0	+6,041	+21.2
売上原価	19,883	69.8	23,631	68.4	+3,747	+18.8
売上総利益	8,606	30.2	10,900	31.6	+2,294	+26.7
販売費及び一般管理費	7,248	25.4	7,739	22.4	+491	+6.8
営業利益	1,357	4.8	3,161	9.2	+1,803	+132.8
営業外損益	▲242	▲0.9	565	1.6	+807	-
経常利益	1,115	3.9	3,726	10.8	+2,611	+234.2
税金等調整前四半期純利益	1,115	3.9	3,726	10.8	+2,611	+234.2
四半期純利益	599	2.1	2,510	7.3	+1,910	+318.7

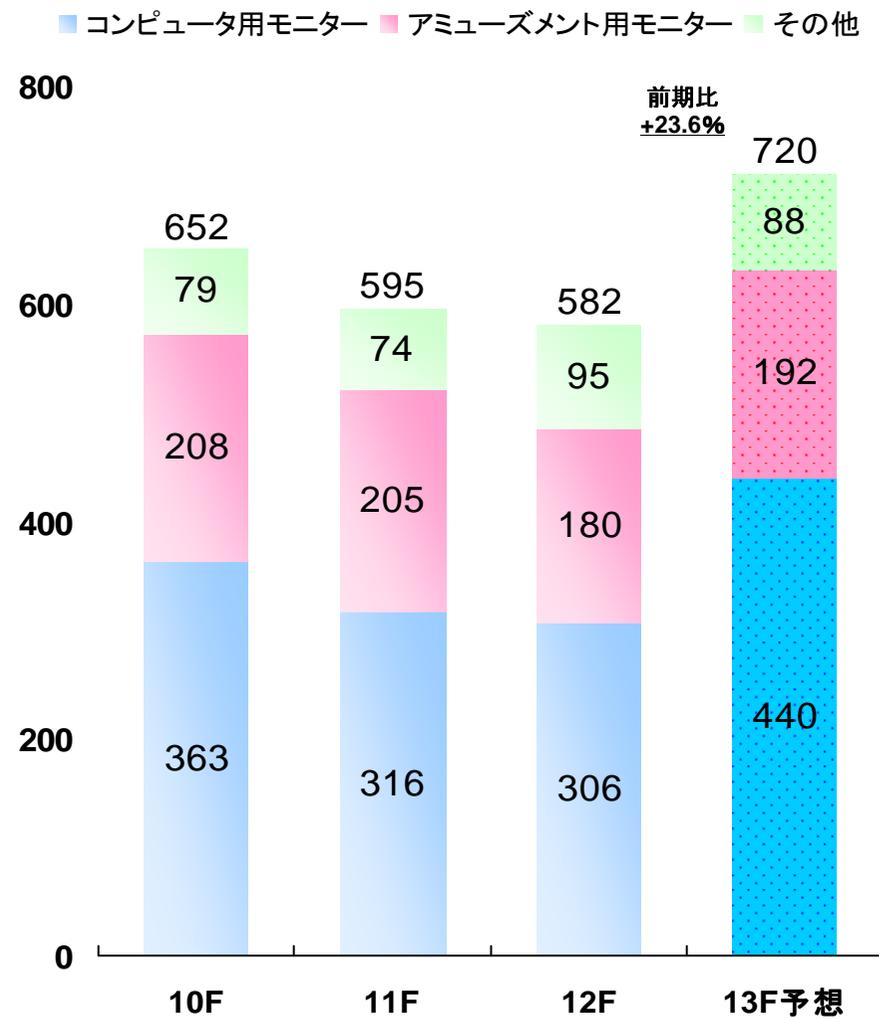


連結売上高推移

(億円) 半期推移



年次推移





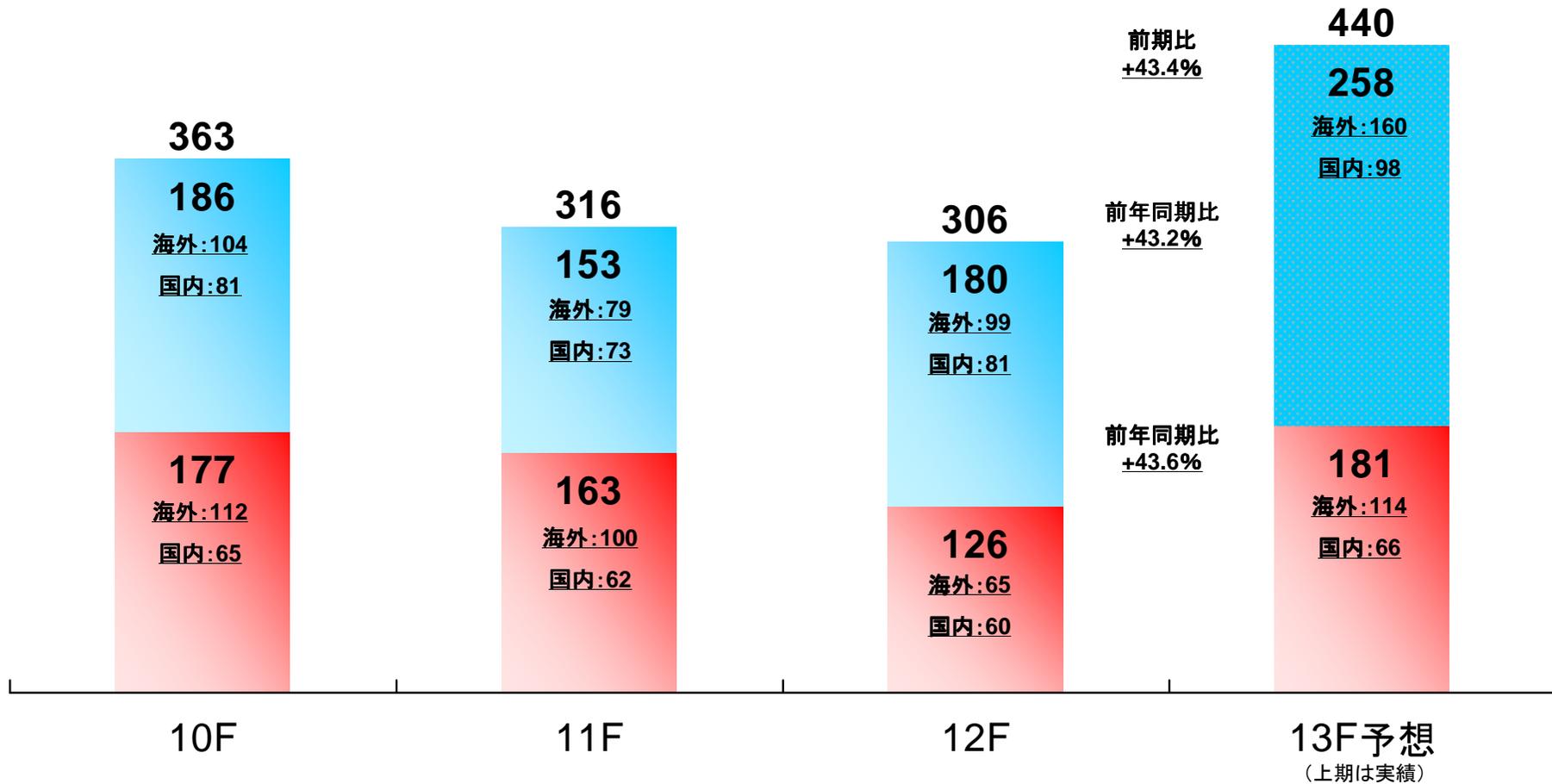
品目別売上高推移(1) コンピュータ用モニター

(億円)

■ 上期 ■ 下期

・海外は、直接販売体制が整った欧州での販売が好調に推移し、一般用途向けではボリュームゾーンである23インチ以上のワイドモニター、特定用途向けでは医用モニターを中心に売上高が増加し、前年同期間比で大幅な増収となった。また、前年同期間には、Avnet社との販売代理店契約を解消し、Avnet社が保有していた在庫の買い戻し処理(売上のマイナス処理)があったことも前年同期間比の増収の要因となっている。

・国内は、円安株高により市況の回復がみられ、一般用途向けでは海外と同じく23インチ以上のワイドモニター、特定用途向けでは医用及び産業用モニターを中心に売上高が増加し、前年同期間比で増収となった。



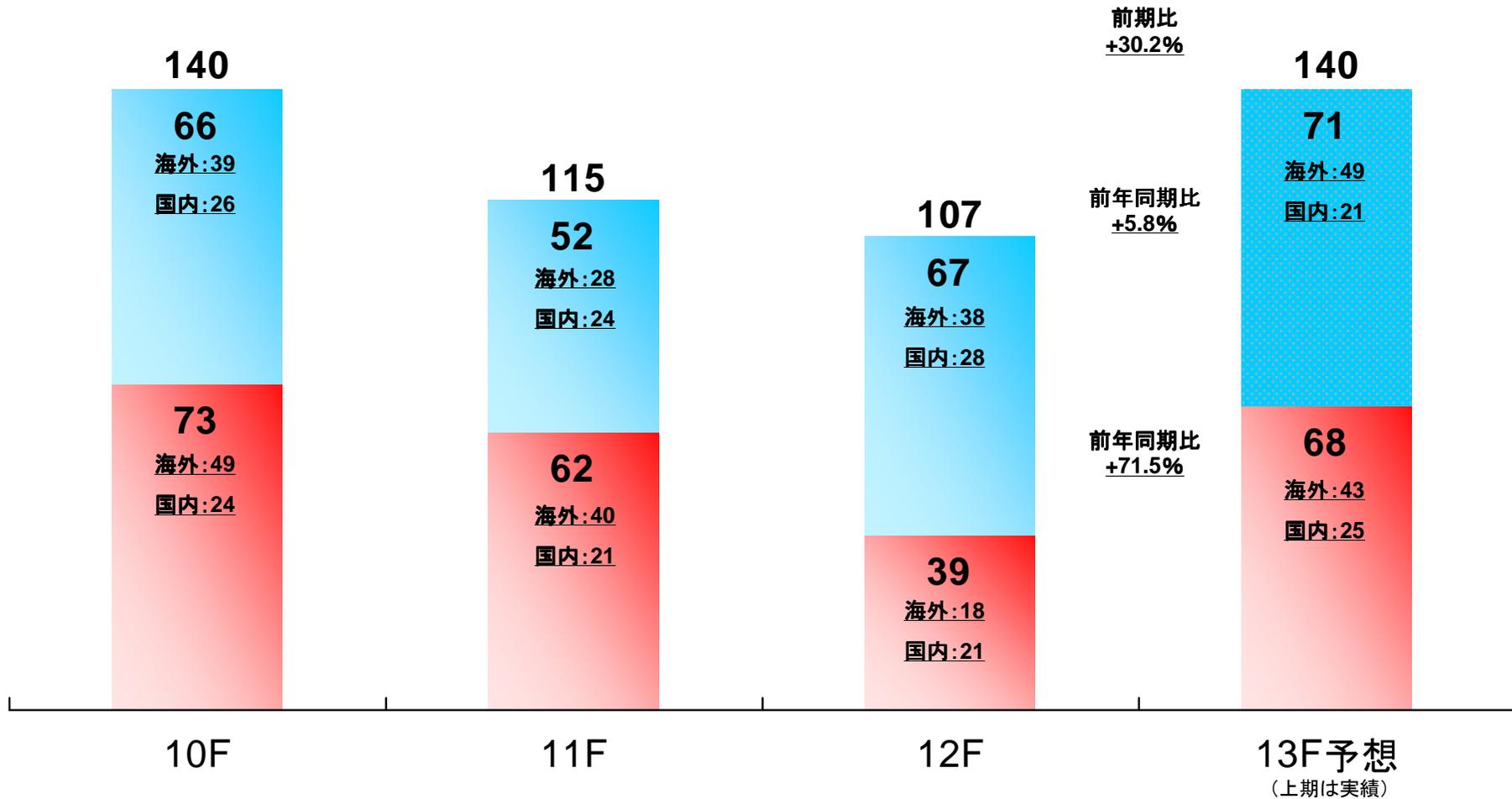


品目別売上高推移(2)

コンピュータ用モニター うち一般用途

(億円)

■ 上期 ■ 下期



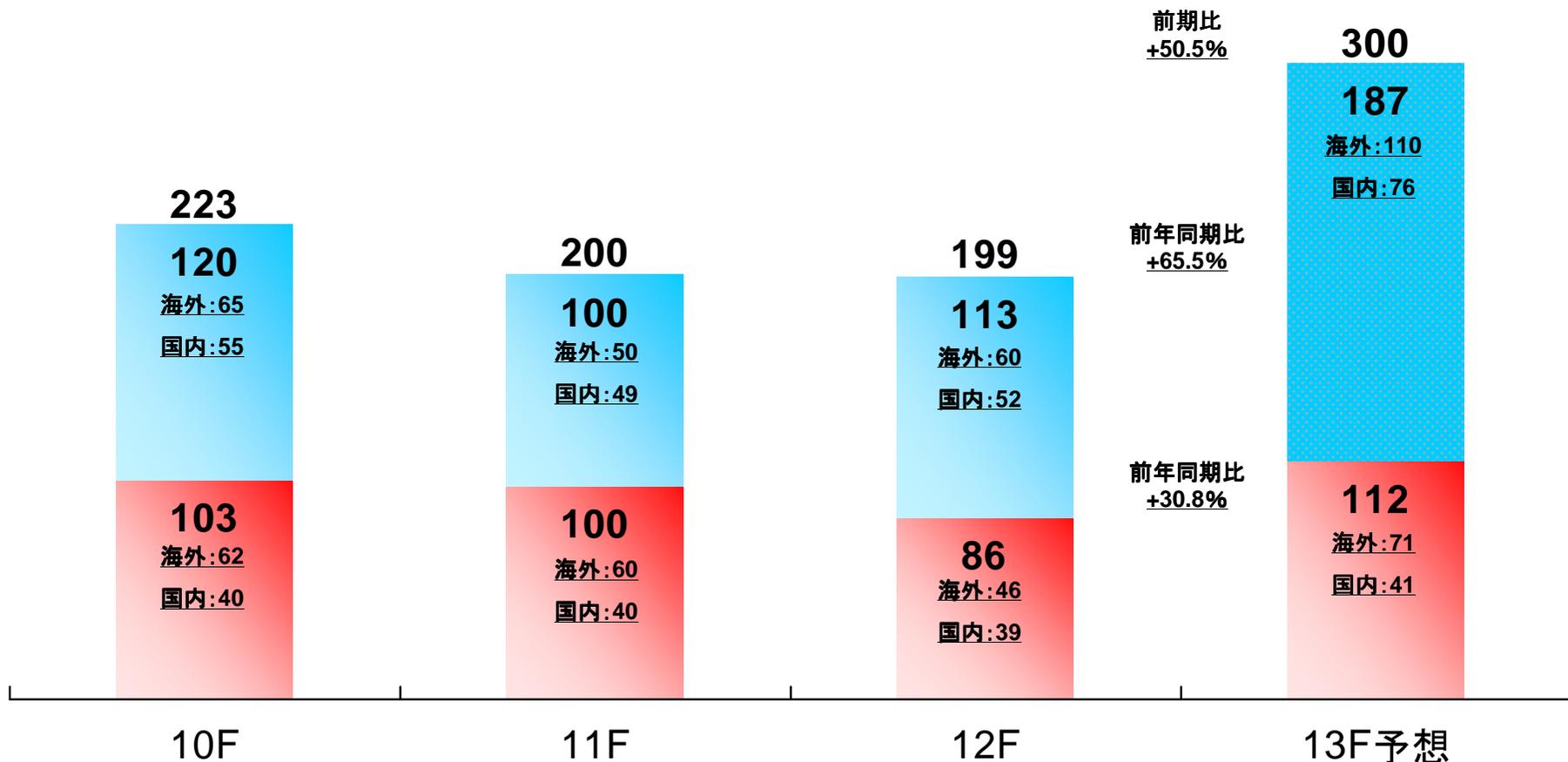
※一般用途 ... 一般法人、文教、個人消費者向け



品目別売上高推移(3) コンピュータ用モニター うち特定用途

(億円)

■ 上期 ■ 下期



※特定用途 … 医療、グラフィックス、産業、航空管制(ATC)用途向けなど

13F 予想
(上期は実績)

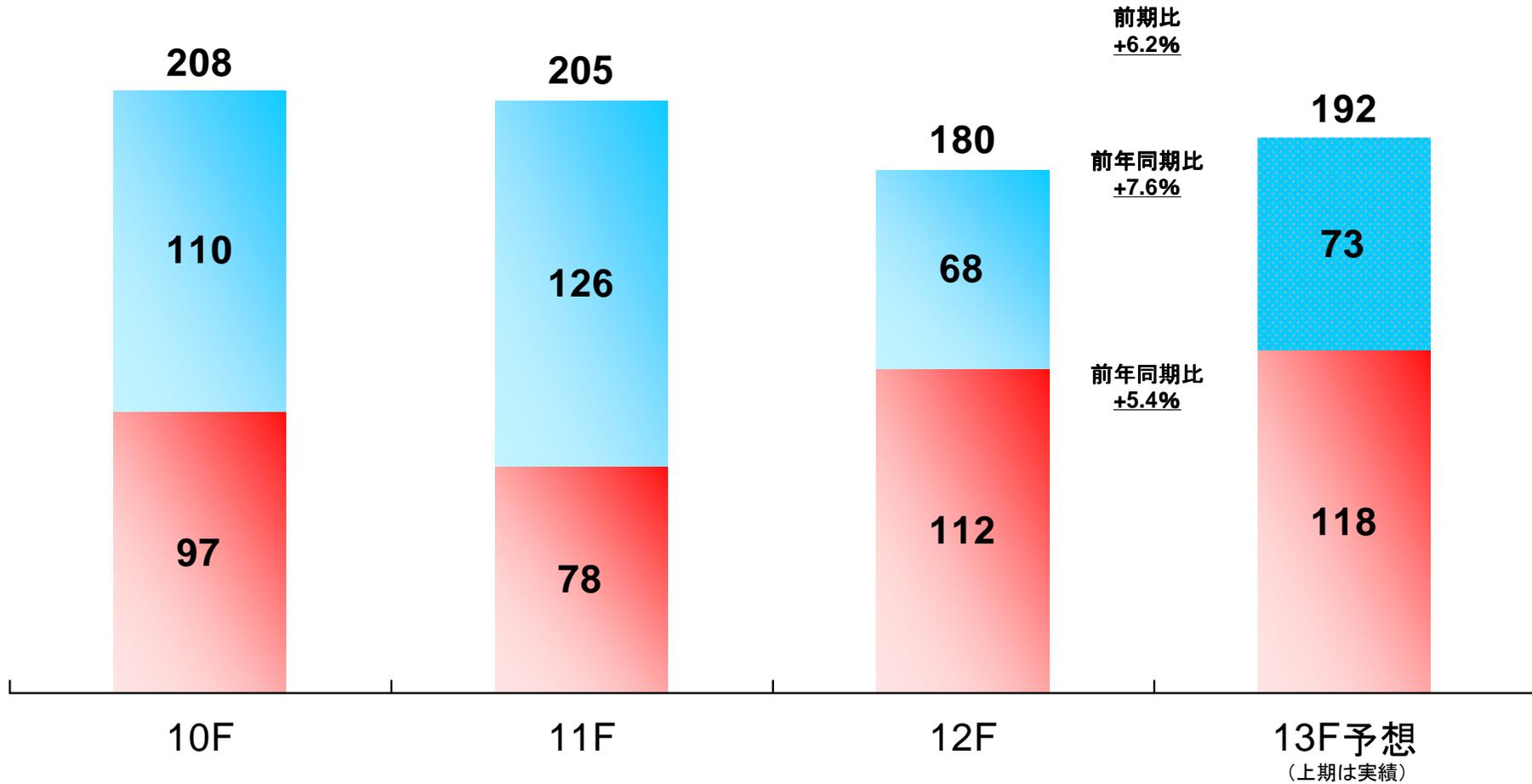


品目別売上高推移(4) アミューズメント用モニター

(億円)

・アミューズメント用モニターは新機種の投入時期により各期の売上高が左右される特性がある。
当期は新機種の販売が増加したことから前年同期間と比べ、増収となった。

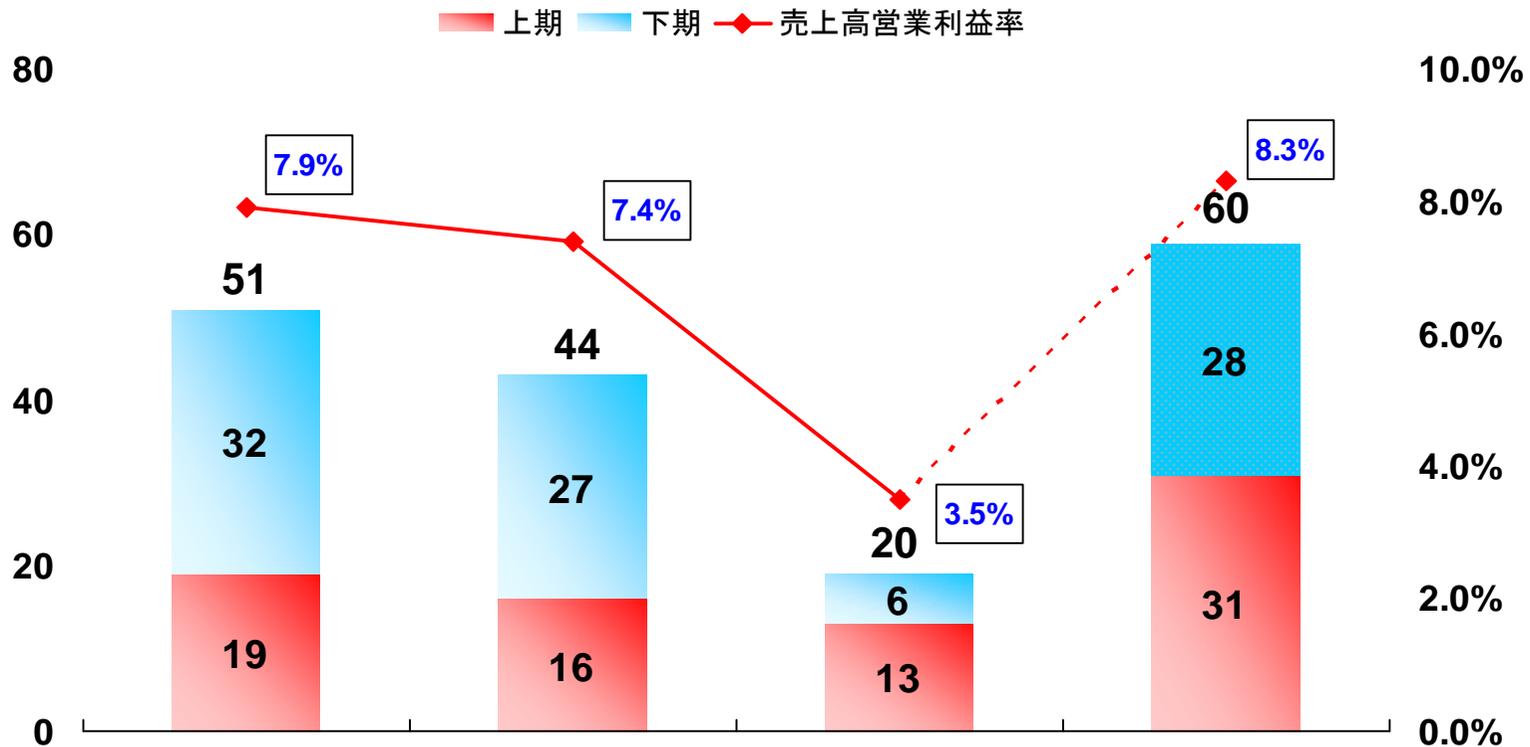
■ 上期 ■ 下期





営業利益推移

(億円)



	10F	11F	12F	13F 予想 (上期は実績)
ROA (%)	6.9	5.8	4.0	7.3
ROE (%)	6.1	2.8	2.7	5.9
DOE (%)	1.9	1.9	1.8	1.7
EBITDA (億円)	77	51	44	77

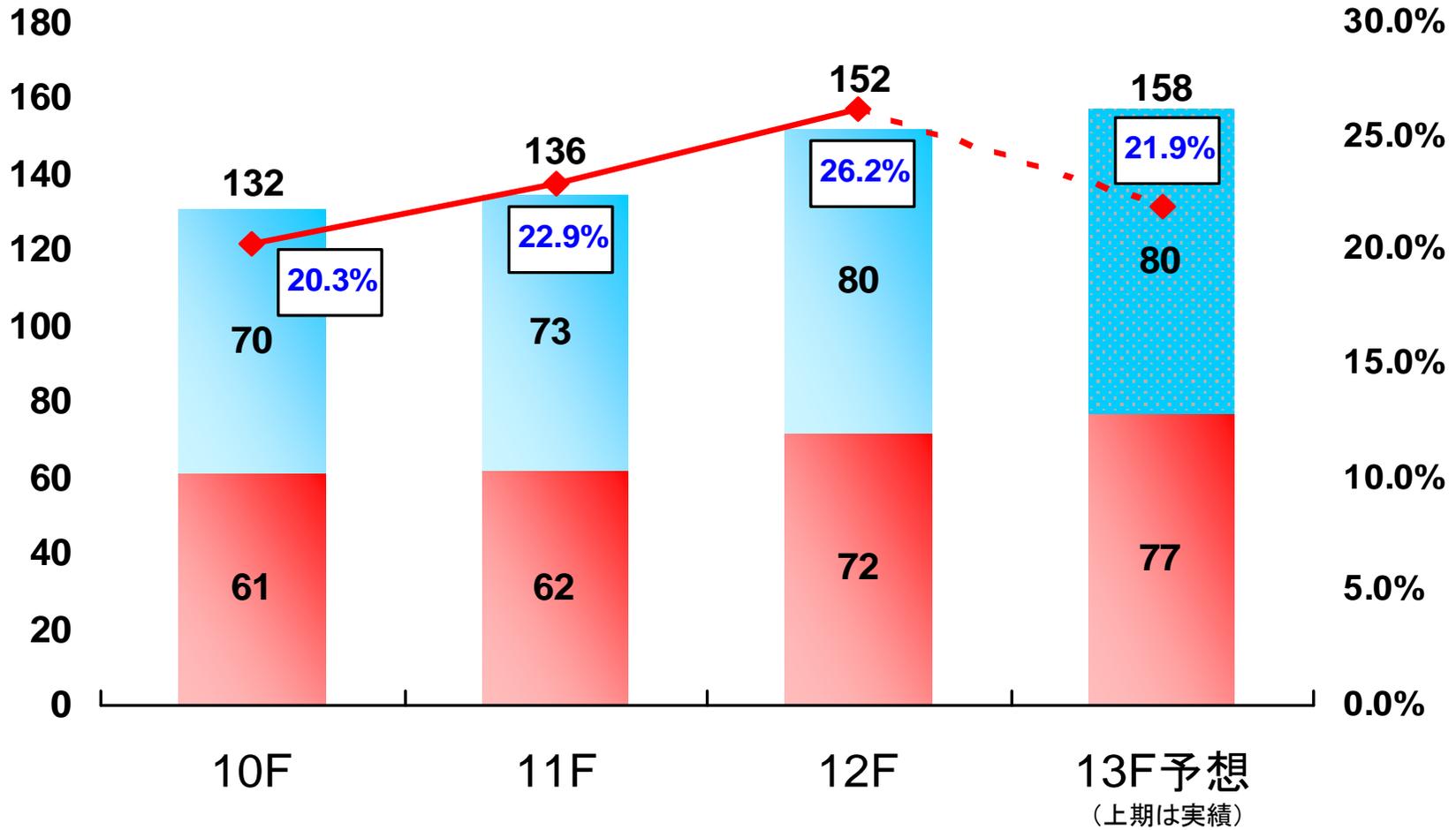
ROA(総資産経常利益率): 経常利益 ÷ 総資産(期首・期末平均) ROE(自己資本当期純利益率): 当期純利益 ÷ 自己資本(期首・期末平均)
 DOE(純資産配当率): 年間配当金総額 ÷ 純資産(期首・期末平均) EBITDA: 税引前当期純利益+支払利息+減価償却費+のれん等償却費+減損損失



販売費及び一般管理費推移

(億円)

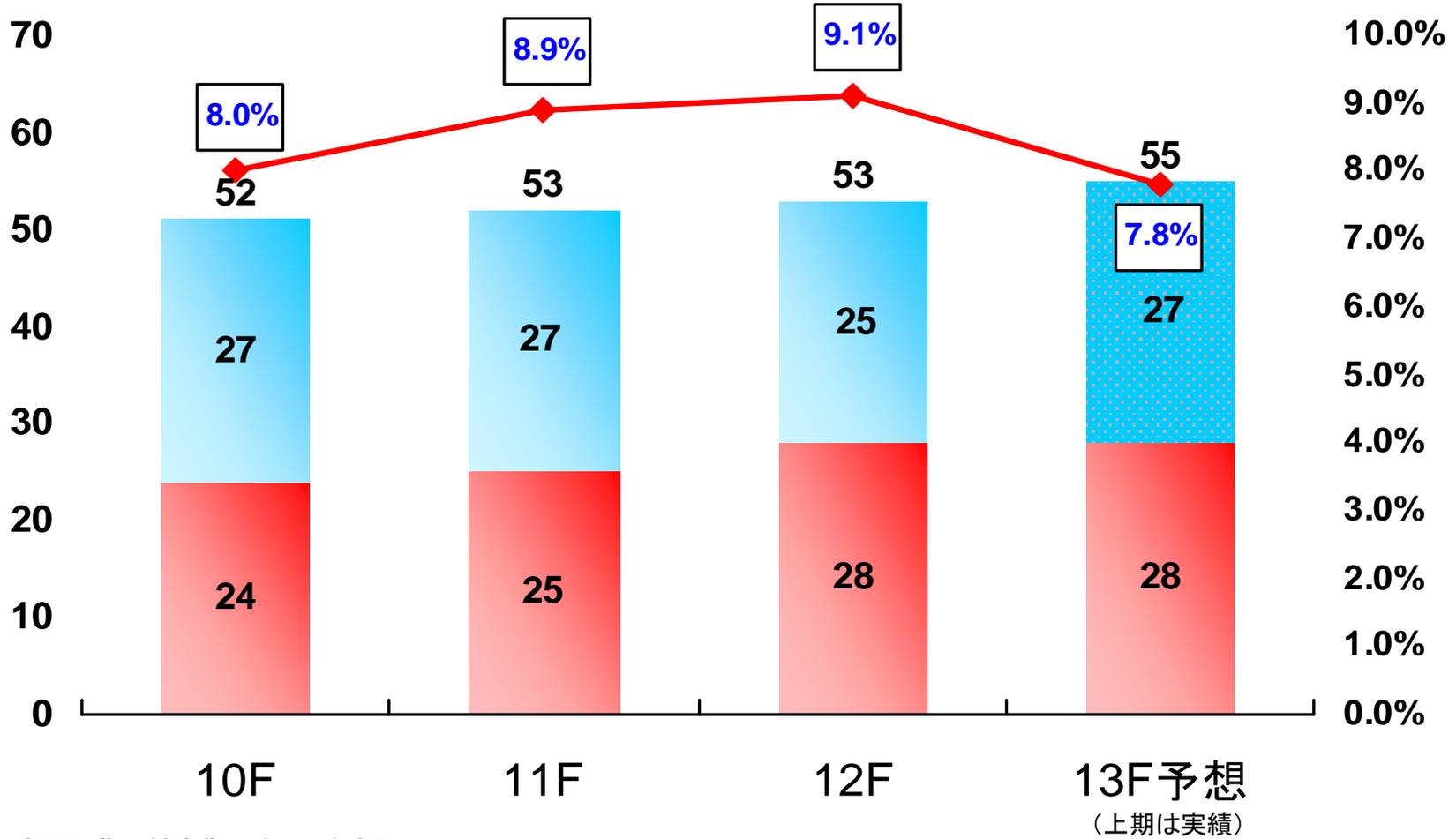
■ 上期 ■ 下期 ◆ 売上高販管費比率



研究開発費推移

(億円)

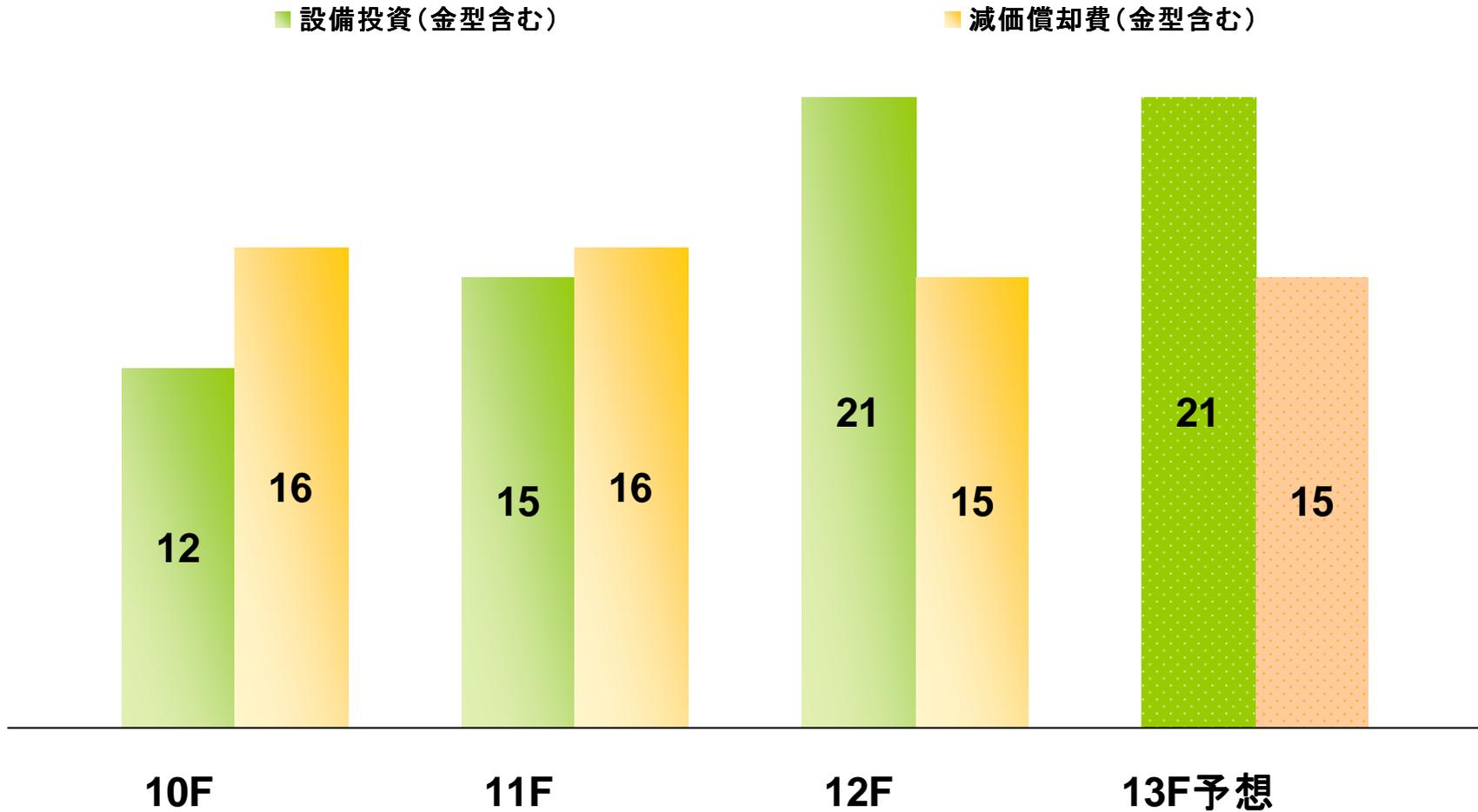
■ 上期 ■ 下期 ◆ 売上高研究開発費率



※研究開発費は製造費用計上分を含む。

設備投資推移

(億円)





比較連結貸借対照表

(百万円)

	13年3月末 (前期末)		13年9月末 (当第2四半期末)		前期末比
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	増減額
現金及び預金	8,138	10.3	7,196	8.4	▲941
受取手形及び売掛金	12,310	15.5	13,227	15.5	+916
たな卸資産	20,755	26.2	25,067	29.4	+4,311
その他の	10,827	13.6	11,562	13.6	+734
流動資産	52,032	65.6	57,054	66.9	+5,022
有形固定資産	8,062	10.1	8,153	9.6	+91
その他の	19,273	24.3	20,014	23.5	+740
固定資産	27,335	34.4	28,167	33.1	+832
資産計	79,367	100.0	85,222	100.0	+5,854
買掛金	6,053	7.6	7,805	9.2	+1,751
流動負債	11,947	15.1	14,396	16.9	+2,448
固定負債	5,988	7.5	6,339	7.4	+350
純資産	61,431	77.4	64,486	75.7	+3,055
負債・純資産計	79,367	100.0	85,222	100.0	+5,854



連結業績予想

(百万円)

	12F		13F予想		前期比 増減	前期比 (%)
	金額	売上高比 (%)	金額	売上高比 (%)		
売上高	58,270	100.0	72,000	100.0	+13,729	+23.6
営業利益	2,056	3.5	6,000	8.3	+3,943	+191.8
経常利益	3,101	5.3	6,000	8.3	+2,898	+93.4
当期純利益	1,598	2.7	3,700	5.1	+2,101	+131.5
品目別売上高	金額	構成比	金額	構成比	前期比 増減	前期比 (%)
コンピュータ用 モニター	30,690	52.7	44,000	61.1	+13,309	+43.4
アミューズメント用 モニター	18,074	31.0	19,200	26.7	+1,125	+6.2
その他	9,505	16.3	8,800	12.2	▲705	▲7.4
合計	58,270	100.0	72,000	100.0	+13,729	+23.6

※13F予想は、2013年5月8日公表の業績予想から修正しておりません。



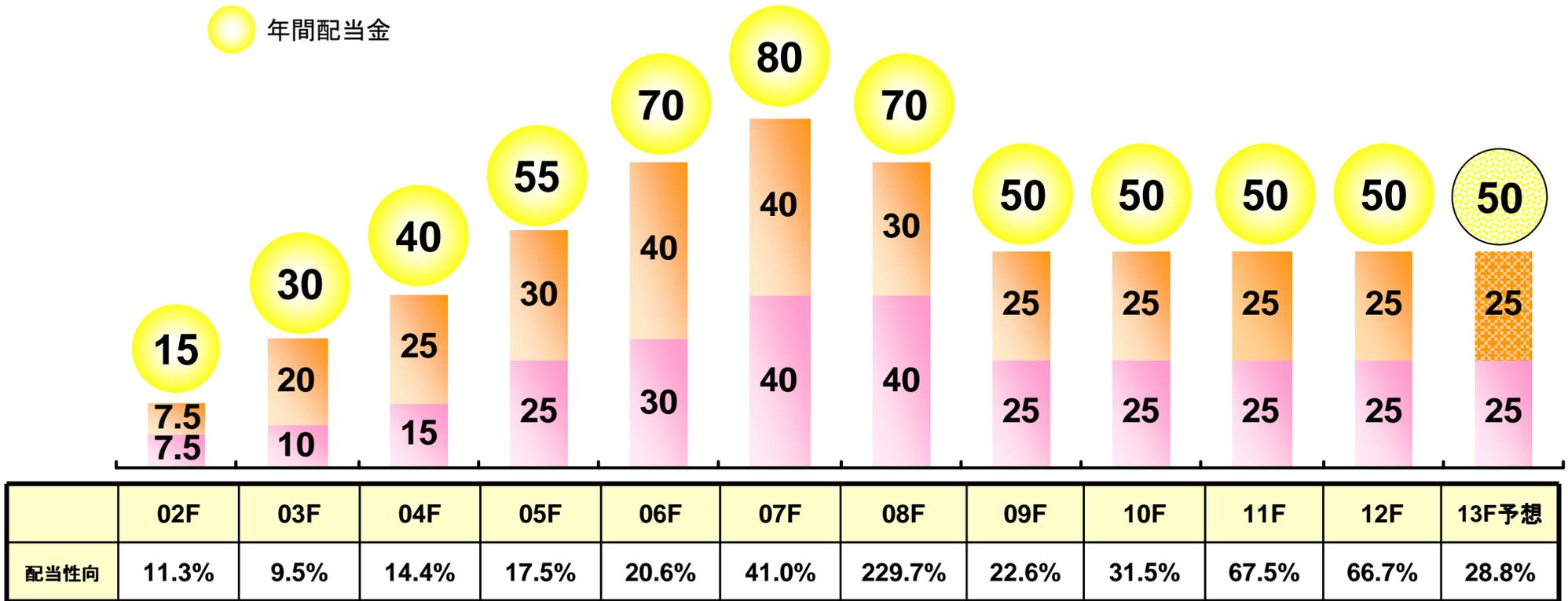
配当推移

(円/株)

- 期末配当
- 中間配当
- 年間配当金

●株主還元方針

- ・事業拡大のための設備や研究開発投資に必要となる内部資金の確保、財務状況及び将来の業績等を総合的に勘案の上、株主還元を実施
- ・還元率(総還元性向)は、連結当期純利益の30%から40%を目標水準とし、それを達成すべく収益基盤を強化



※ 配当性向は連結ベース 13F配当は予想



EIZO株式会社

石川県白山市下柏野町153番地

〒924 - 8566

○お問合せ

担 当：IR室 出南(でみなみ)

電話番号：076-275-4121

www.eizo.co.jp